

所 属	県土整備部 道路建設課		
担当(係)名	改良担当 他	内線	3688

活力ある県土づくりの基礎となる幹線道路網の整備

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
17,378,816	国庫 4,802,351	工事請負費 7,209,325
(前年度	県債 12,470,200	(道路、橋りょう整備)
19,550,848)	一財 22,725	負担金 8,200,040
	分・負 83,540	(直轄道路事業負担金)
		(維持・修繕を除く)

2 背景・現状

未来に向かって発展していく岐阜県づくりのため、人・モノの交流拡大に繋がる基盤の整備が求められている。

3 事業目的

広域交流の基盤となる東海環状自動車道や濃飛横断自動車道等の整備を促進し、産業経済活動、地域の活性化を支援する。

4 事業概要

東海環状自動車道西回り区間においては、既存の高速道路と接続し、整備効果の高い区間である(仮称)大垣西IC～(仮称)養老JCT間の工事を促進する。その他の区間においても、用地買収、調査・設計及び地元調整を進める。県土1,700km骨格幹線ネットワーク構想に基づき道路整備を推進する。

主な箇所

【H22完了箇所】:(国)156号西洞 期バイパス(郡上市高鷲町)
(主)岐阜関ヶ原線片山・梅谷工区(揖斐郡池田町～不破郡垂井町)

【継続箇所】:

(国直轄道路) 東海環状自動車道
中部縦貫自動車道 等
(県管理道) (国)256号濃飛横断自動車道
(国)156号福島バイパス
(国)360号種蔵打保バイパス
(主)岐阜関ヶ原線
(一)大垣江南線
(一)扶桑各務原線 等
(国):一般国道、(主):主要地方道、(一):一般県道



東海環状自動車道

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)(5)直轄事業負担金
(明細書事業名) 公共事業他
直轄道路事業負担金他